

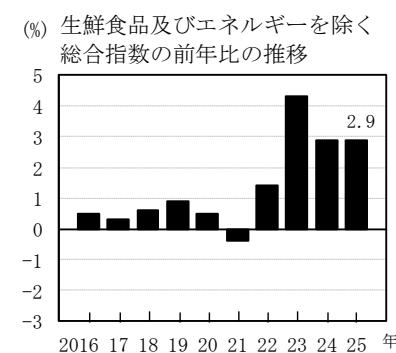
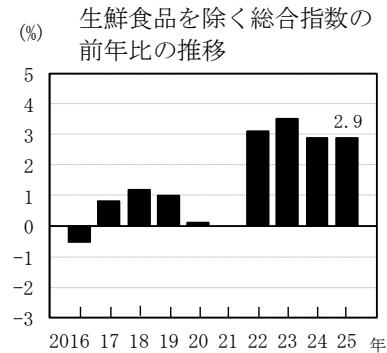
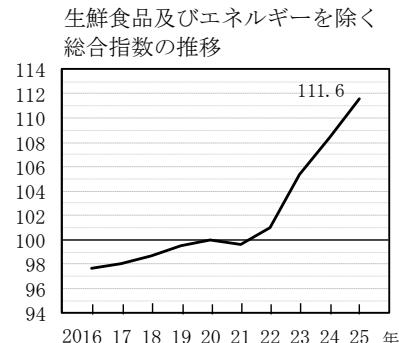
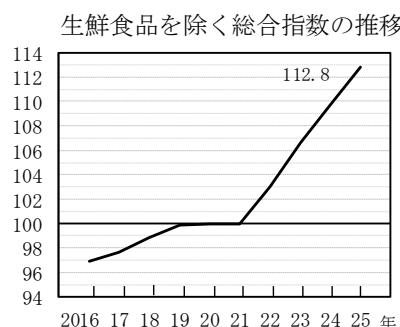
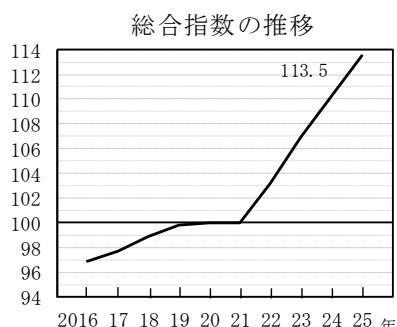
長野市の消費者物価指数 －2020年基準－

2025年平均(確報値)をお知らせします

総合指数は、2020年(令和2年)を100として113.5となり、前年比は3.0%上昇しました。

生鮮食品を除く総合指数は112.8となり、前年比は2.9%上昇しました。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は111.6となり、前年比は2.9%上昇しました。



(注) ・前年比の数値は、端数処理(四捨五入)の関係で、公表された指数を用いて算出した値とは一致しない場合があります。

・「生鮮食品及びエネルギーを除く総合」指数については、2015年(平成27年)から公表が開始されました。

・この資料は、「総務省統計局『小売物価統計調査』の調査票情報」の長野市内価格を集計したものです。

* 「長野市の消費者物価指数」は、「統計ステーションながの」でも提供しています。<https://tokei.pref.nagano.lg.jp/>

確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る

—— しあわせ信州創造プラン3.0 ——
～大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために～

長野県総合5か年計画推進中

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
[長野県は「SDGs未来都市」です]

長野県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



(問合せ先)

担当 当 企画振興部総合政策課統計室
統計第二係 氷熊、片山
電話 026-235-7073 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線 5114
ファクシミリ 026-235-0517
電子メール tokei@pref.nagano.lg.jp

1 近年の総合指指数の動き

(2020年(令和2年)=100)

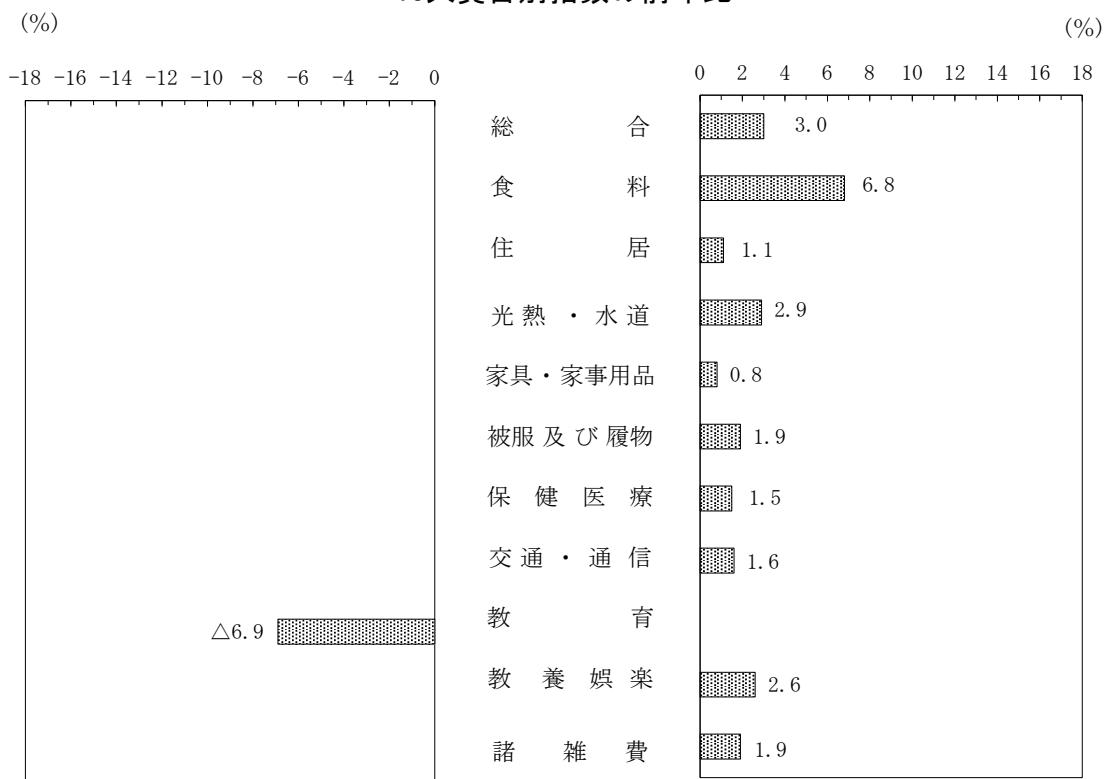
区分	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
指 数	96.9	97.7	98.9	99.8	100.0	100.0	103.2	106.9	110.2	113.5
前年比(%)	△ 0.3	0.8	1.2	0.9	0.2	0.0	3.2	3.6	3.1	3.0

2 10大費目別指指数

区分	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
ウエイト	10000.0	2579.0	2100.0	768.0	416.0	354.0	458.0	1523.0	206.0	989.0	607.0
指 数	113.5	128.3	105.3	117.8	116.8	111.2	104.6	101.5	94.2	119.3	106.7
前年比(%)	3.0	6.8	1.1	2.9	0.8	1.9	1.5	1.6	△ 6.9	2.6	1.9

(注)ウエイト:総合と10大費目の合計は、端数処理のため一致していない。

10大費目別指指数の前年比



消費者物価指数（長野市）

2025年平均 確報値

10大費目別

(2020年(令和2年)=100)

分類	指 数	前年比	分類	指 数	前年比	
総合	113.5	3.0	他の被服 被服関連サービス	95.6 111.5	△3.2 0.3	
食料	128.3	6.8	保健医療	104.6	1.5	
穀類	153.0	19.6	医薬品・健康保持用摂取品	108.6	2.4	
魚介類	131.3	3.5	保健医療用品・器具	113.3	2.2	
生鮮魚介	132.3	3.0	保健医療サービス	99.4	0.7	
肉類	130.0	5.3	交通・通信	101.5	1.6	
乳卵類	125.2	1.6	交通	102.5	0.2	
野菜・海藻	126.3	6.1	自動車等関係費	113.3	1.1	
生鮮野菜	130.5	7.4	通信	75.7	4.2	
果物	127.5	5.8	教育	94.2	△6.9	
生鮮果物	130.6	5.7	授業料等	87.8	△11.2	
油脂・調味料	122.3	△0.9	教科書・学習参考教材	107.5	0.3	
菓子類	135.7	10.2	補習教育	111.0	3.5	
調理食品	133.5	6.5	教養娯楽	119.3	2.6	
飲料	125.2	9.3	教養娯楽用耐久財	104.4	△0.5	
酒類	112.1	4.2	教養娯楽用品	120.2	3.2	
外食	117.3	5.6	書籍・他の印刷物	116.3	2.8	
			教養娯楽サービス	122.1	2.7	
住居	105.3	1.1	諸雑費	106.7	1.9	
家賃	100.9	0.3	理美容サービス	105.9	1.8	
設備修繕・維持	120.0	3.2	理美容用品	104.5	1.7	
光熱・水道	117.8	2.9	身の回り用品	119.1	7.1	
電気代	122.9	4.8	たばこ	115.0	0.5	
ガス代	117.8	1.8	他の諸雑費	103.5	0.7	
他の光熱	148.3	4.2	別	生鮮食品 *1	131.0	5.7
上下水道料	100.0	0.0		生鮮食品を除く総合	112.8	2.9
家具・家事用品	116.8	0.8		生鮮食品を除く食料	127.8	7.0
家庭用耐久財	109.4	△2.5		持家の帰属家賃を除く総合	115.5	3.4
室内装備品	96.0	2.5		持家の帰属家賃を除く住居	113.3	2.3
寝具類	112.8	△0.7		持家の帰属家賃を除く家賃	101.0	0.5
家事雑貨	134.2	3.3		持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	114.7	3.2
家事用消耗品	123.5	3.8	掲	エネルギー *2	126.0	2.2
家事サービス	104.3	0.5		食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	106.4	1.5
被服及び履物	111.2	1.9		教育関係費	98.1	△4.7
衣料	113.1	3.0		教養娯楽関係費	117.8	2.5
和服	131.7	20.6		情報通信関係費	76.5	3.8
洋服	112.6	2.5		生鮮食品及びエネルギーを除く総合	111.6	2.9
シャツ・セーター・下着類	110.5	1.3				
シャツ・セーター類	114.1	2.6				
下着類	103.1	△1.4				
履物類	116.8	3.4				

*1 生鮮魚介、生鮮野菜及び生鮮果物

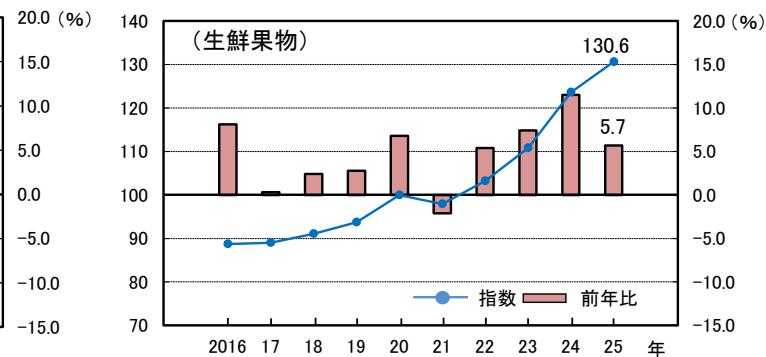
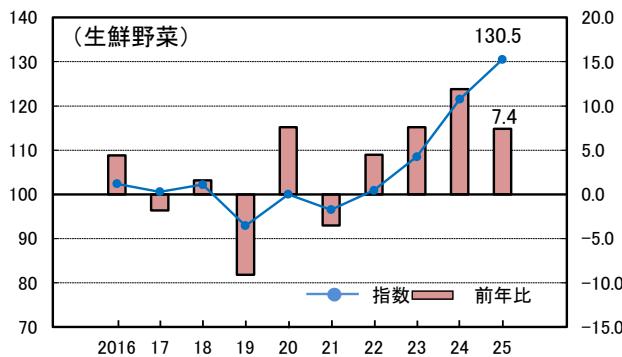
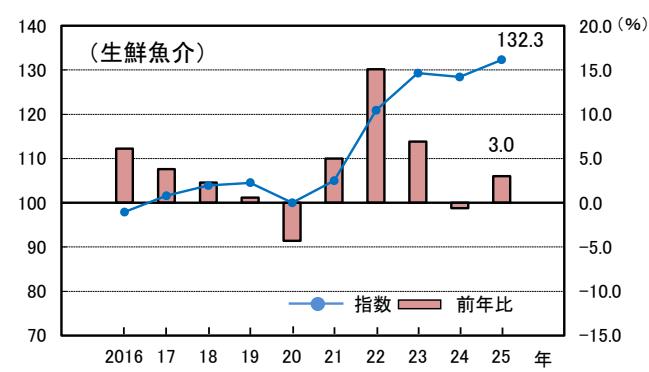
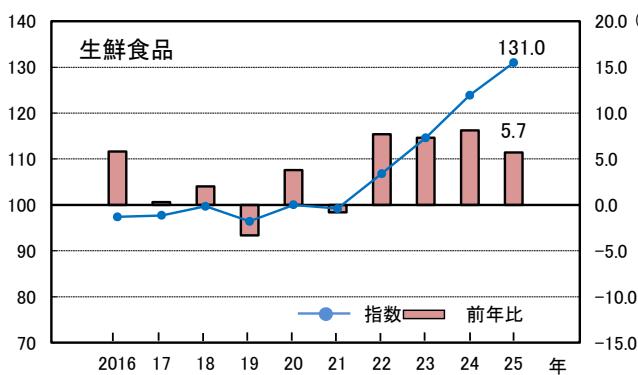
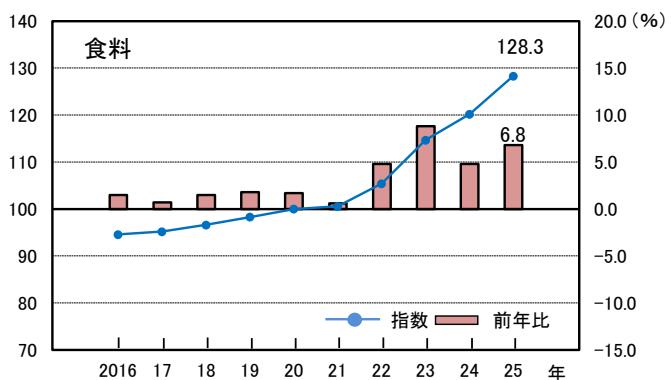
*2 電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油及びガソリン

3 費目別指標の動き

(1) 食料

年平均指標は128.3となり、前年比は6.8%上昇しました。

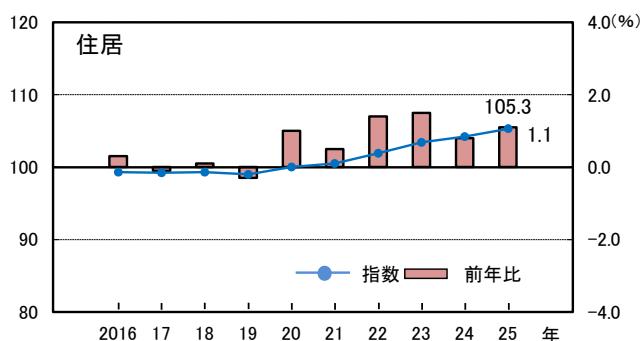
内訳をみると、「穀類」は19.6%、「菓子類」は10.2%、「飲料」は9.3%、「調理食品」は6.5%、「野菜・海藻」は6.1%、「果物」は5.8%、「外食」は5.6%、「肉類」は5.3%、「酒類」は4.2%、「魚介類」は3.5%、「乳卵類」は1.6%それぞれ上昇しました。また、「油脂・調味料」は0.9%下降しました。「生鮮食品」全体では、年平均指標は131.0となり、前年比は5.7%上昇しました。



(2) 住居

年平均指標は105.3となり、前年比は1.1%上昇しました。

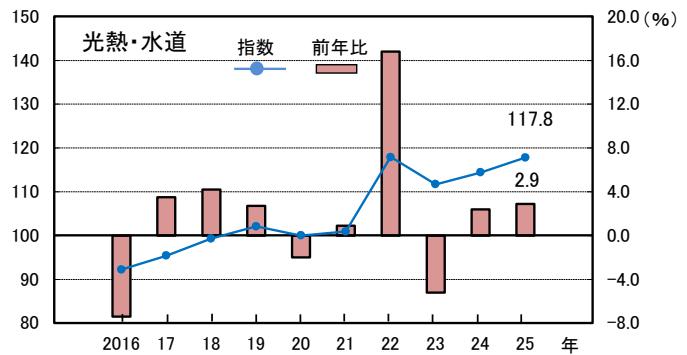
内訳をみると、「設備修繕・維持」は3.2%、「家賃」は0.3%それぞれ上昇しました。



(3)光熱・水道

年平均指数は117.8となり、前年比は2.9%上昇しました。

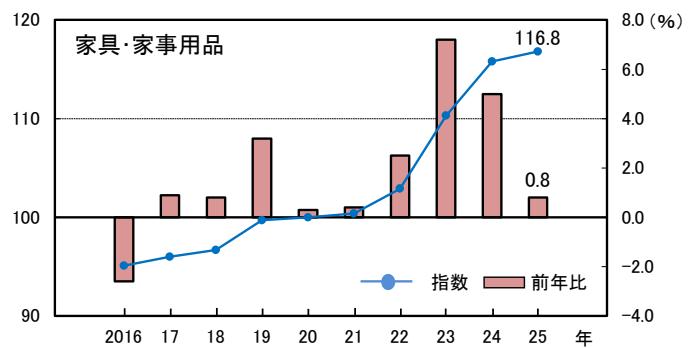
内訳をみると、「電気代」は4.8%、「他の光熱」は4.2%、「ガス代」は1.8%それぞれ上昇しました。また、「上下水道料」は同水準でした。



(4)家具・家事用品

年平均指数は116.8となり、前年比は0.8%上昇しました。

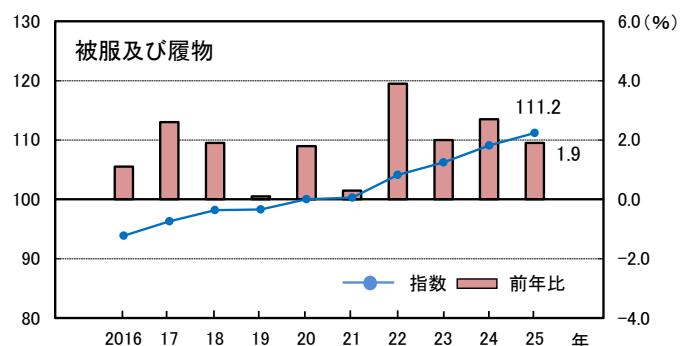
内訳をみると、「家事用消耗品」は3.8%、「家事雑貨」は3.3%、「室内装備品」は2.5%、「家事サービス」は0.5%それぞれ上昇しました。また、「家庭用耐久財」は2.5%、「寝具類」は0.7%それぞれ下降しました。



(5)被服及び履物

年平均指数は111.2となり、前年比は1.9%上昇しました。

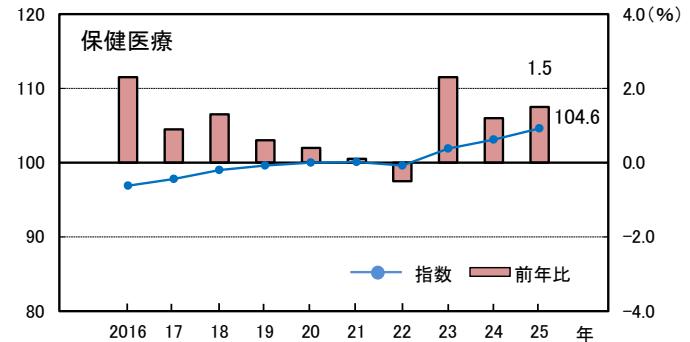
内訳をみると、「履物類」は3.4%、「衣料」は3.0%、「シャツ・セーター・下着類」は1.3%、「被服関連サービス」は0.3%それぞれ上昇しました。また、「他の被服」は3.2%下降しました。



(6)保健医療

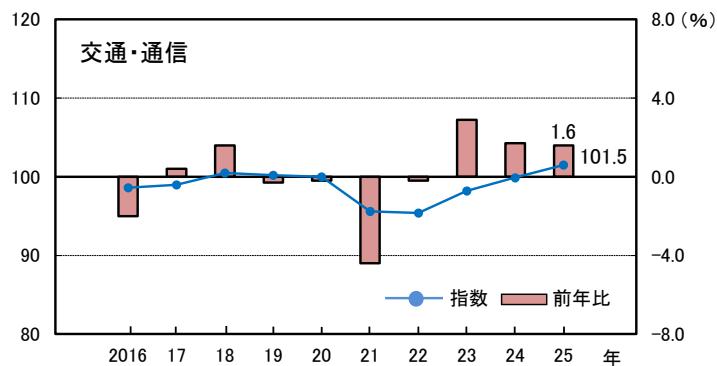
年平均指数は104.6となり、前年比は1.5%上昇しました。

内訳をみると、「医薬品・健康保持用摂取品」は2.4%、「保健医療用品・器具」は2.2%、「保健医療サービス」は0.7%それぞれ上昇しました。



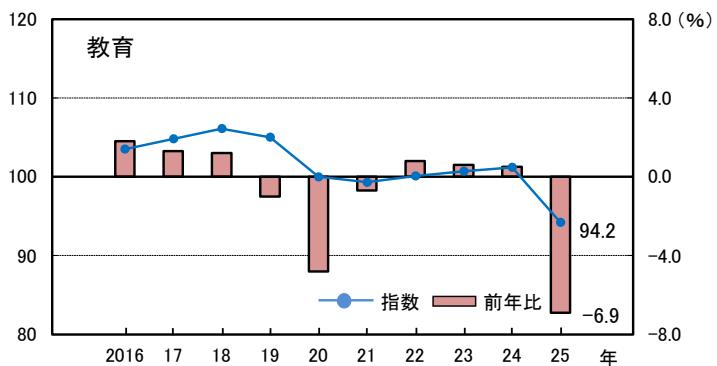
(7) 交通・通信

年平均指数は101.5となり、前年比は1.6%上昇しました。
内訳をみると、「通信」は4.2%、「自動車等関係費」は1.1%、「交通」は0.2%それぞれ上昇しました。



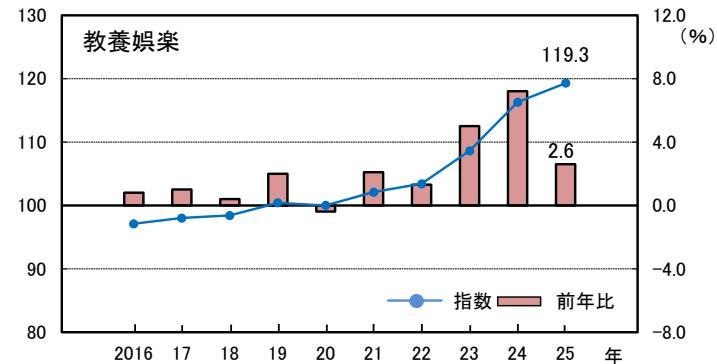
(8) 教育

年平均指数は94.2となり、前年比は6.9%下降しました。
内訳をみると、「補習教育」は3.5%、「教科書・学習参考教材」は0.3%それぞれ上昇しました。
また、「授業料等」は11.2%下降しました。



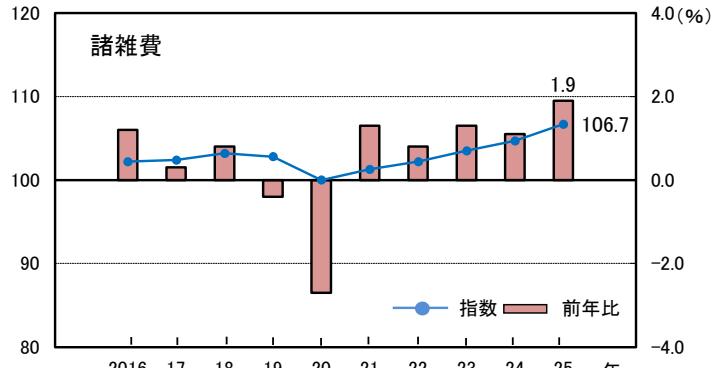
(9) 教養娯楽

年平均指数は119.3となり、前年比は2.6%上昇しました。
内訳をみると、「教養娯楽用品」は3.2%、「書籍・他の印刷物」は2.8%、「教養娯楽サービス」は2.7%それぞれ上昇しました。また、「教養娯楽用耐久財」は0.5%下降しました。



(10) 諸雑費

年平均指数は106.7となり、前年比は1.9%上昇しました。
内訳をみると、「身の回り用品」は7.1%、「理美容サービス」は1.8%、「理美容用品」は1.7%、「他の諸雑費」は0.7%、「たばこ」は0.5%それぞれ上昇しました。



2020年基準 都市別消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)

(2020年(令和2年)=100)

区分		長野市		全国		東京都区部	
年		指 数	前年(度)比 (%)	指 数	前年(度)比 (%)	指 数	前年(度)比 (%)
年 別	2016年	96.9	△0.5	98.2	△0.3	98.2	△0.3
	2017	97.7	0.8	98.7	0.5	98.3	0.2
	2018	98.9	1.2	99.5	0.9	99.1	0.8
	2019	99.9	1.0	100.2	0.6	100.0	0.9
	2020	100.0	0.1	100.0	△0.2	100.0	0.0
	2021	100.0	0.0	99.8	△0.2	99.8	△0.2
	2022	103.0	3.1	102.1	2.3	101.9	2.2
	2023	106.6	3.5	105.2	3.1	105.0	3.0
	2024	109.7	2.9	107.9	2.5	107.2	2.1
	2025	112.8	2.9				
年 度 別	2015年	97.3	△0.3	98.5	0.0	98.5	0.0
	2016	97.1	△0.2	98.2	△0.2	98.1	△0.4
	2017	98.0	1.0	98.9	0.7	98.5	0.4
	2018	99.2	1.2	99.7	0.8	99.4	0.9
	2019	100.2	1.0	100.3	0.6	100.2	0.7
	2020	99.8	△0.4	99.9	△0.4	99.9	△0.2
	2021	100.3	0.5	99.9	0.1	99.9	0.0
	2022	104.1	3.8	103.0	3.0	102.8	2.9
	2023	107.3	3.1	105.9	2.8	105.6	2.7
	2024	110.5	3.0	108.7	2.7	107.8	2.1